

## サイレージ用とうもろこしの推奨品種の編入・廃止

(畜試 草地部)

## 1. 背景とねらい

最近のサイレージ用とうもろこしの栽培は、飼養給与上並びに草地更新利用等の理由から、有効積算温度の少ない高標高地での普及拡大も見られてきている。また一方本県の置かれている気象変動に対応して、とうもろこしの良質安定生産のためには、品種選定上、極早生種の採用が重要である。そこで、最近の栽培試験等等から、本県に適すると思われる極早生種として、ロイヤルデントリンダ (TH82082) を推奨品種に編入し、栽培面積が少なく種子需要が少ないため種子流通が行われなくなるスーパーデント2号 (TX74) を廃止する。

## 2. 技術の内容

## (1) 編入する品種の来歴及び品種特性

|                   |                 |                                                          |                |         |
|-------------------|-----------------|----------------------------------------------------------|----------------|---------|
| 品 種 名 ( 系 統 名 )   |                 | ロイヤルデントリンダ (TH82082)                                     |                |         |
| 来 歴               |                 | アメリカトップファーム社                                             |                |         |
| 粒 質               |                 | フリント×デント                                                 |                |         |
| 早 晩 性 ( 相 対 熟 度 ) |                 | 極早生 (90)                                                 |                |         |
| 特 性               | 試験場所 (年次)       |                                                          | 岩手畜試他 (S60~62) |         |
|                   | 雄穂抽出期 (月日)      |                                                          | 7. 27          |         |
|                   | 絹糸抽出期 (月日)      |                                                          | 7. 31          |         |
|                   | 黄 熟 期 ( 月 日 )   |                                                          | 9. 5           |         |
|                   | 稈 長 ( c m )     |                                                          | 267            |         |
|                   | 着 雌 穂 高 ( c m ) |                                                          | 118            |         |
|                   | 生草重 (kg/10a)    |                                                          | 7260           |         |
|                   | 乾 物 重           | 全重 (kg/10a)                                              | 1745           |         |
|                   |                 | 雌穂重 (kg/10a)                                             | 838. 3         |         |
|                   | 性               | TDN収量 (kg/10a)                                           |                | 1240. 0 |
|                   |                 | 耐 倒 伏 性                                                  |                | 強       |
|                   |                 | 耐 病 性                                                    |                | 強       |
| 適 地               |                 | 県下全域                                                     |                |         |
| 栽培上の特徴と留意点        |                 | 生育揃いがよく、極早生にしては稈長が高く、耐倒伏性にも優れる。適正栽植本数は7500~8000本/10aである。 |                |         |

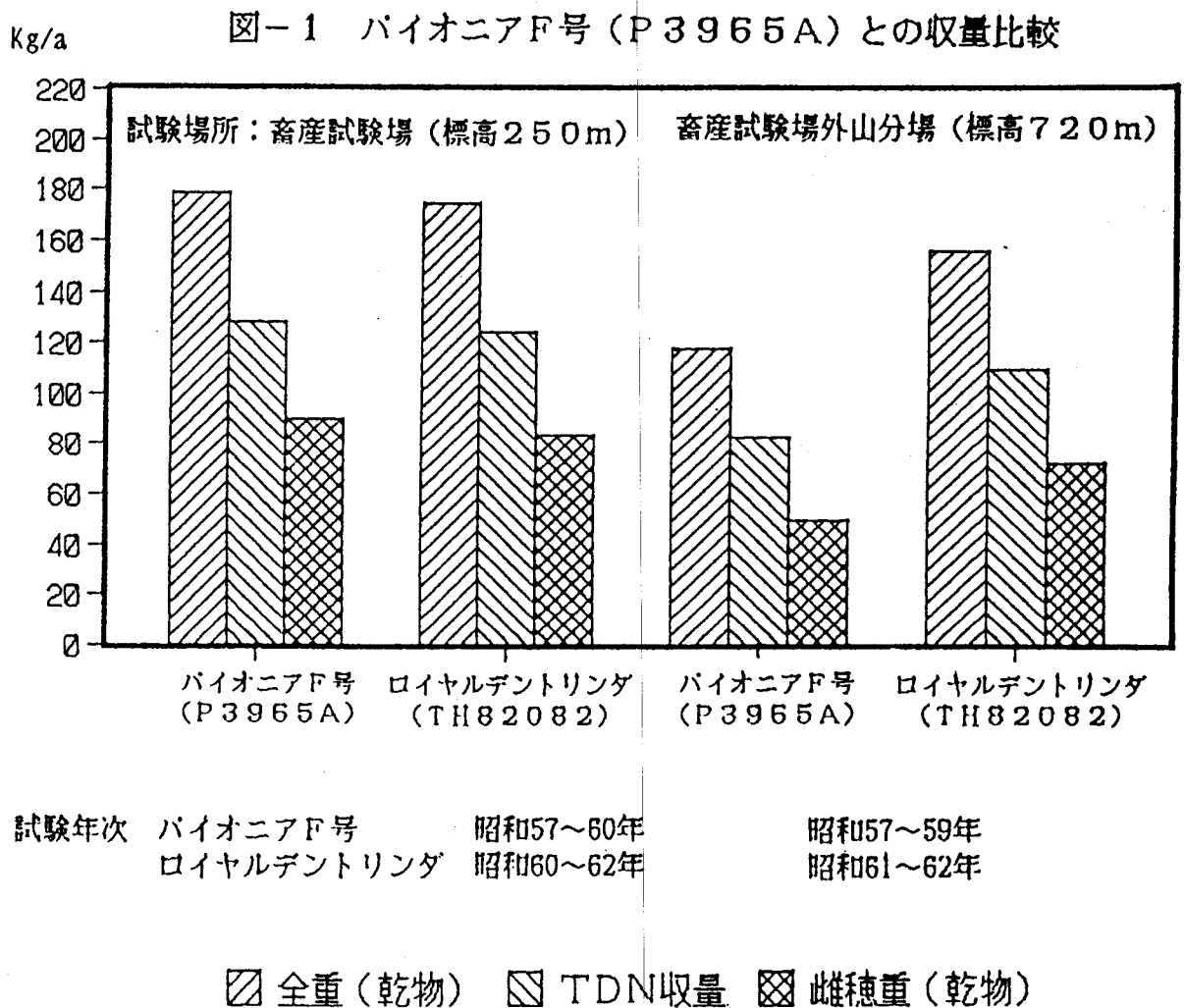
### 3. 普及上の留意点

- (1) 一代雑種であるので自家採種はできない。
- (2) 適正栽植本数を厳守し栽培すること。

### 4. 参考資料

- (1) 昭和55～60年岩手県畜産試験場成績概要書
- (2) 昭和55年度普及奨励事項および指導上の参考事項
- (3) 昭和54年度指導上の参考事項「高冷地におけるサイレージ用とうもろこしの品種特性」
- (4) 昭和61年度普及奨励事項

### 5. 試験成績



注) バイオニアF号 (P3965A) は昭和61年度までの極早生種の推奨品種